



伊勢市在住の絵本作家 二見正直さんの原画展開催

夢と希望に満ちあふれる新学期が、コロナウイルスの影響で思いもかけない状況になってしまいました。3密が叫ばれて2ヶ月が過ぎ、様々な取組がされてきましたが、収束の兆しは見えてくるのでしょうか。

5月も20日前後からやっとう街に子どもたちの姿が見えてきました。休校中は当店に来てくださる子どもも少なく、ほとんどが“おじいちゃん”“おばあちゃん”。“孫に送ってあげようと思って！”と絵本を買いに来てくださいました。

長い休校中を読書で過ごそうという方もいらつやって、そんな来店して下さるお客様とのお話も長くはずみました。

現在、「みやがわ書店」では伊勢市在住の絵本作家、二見正直さんの作品コーナーを設け、『もつとおおきなたいほうを』の原画を展示しております。また『メガネくんとハダシくん』の複製画もあります。ストーリーから抜け出して額の中に！読後のぬくもりをこの一枚からもう一度…たのしくて、おかしくて、かわいくて、やさしい二見ワールドです。

※ホームページでも紹介しています。
「みやがわ書店の公式ホーム」で検索するか下のQRコードで

えほんと童話の店 みやがわ書店

〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)

電話・FAX 0596-22-4317 Eメール ehonbaba@gmail.com

定休日 毎週日曜日 営業時間 AM10:00~PM6:00

ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>



サイン本もあります

5月20日には、二見さんも原画展レイアウトに来ていただきました。するとちょうど来店された親子5人さん!! 小5のすずちゃんが『えんまのはいしゃ』を見つけて、「あ！ この本だいすき！ 家にあるよ！」お母さんも「ボランティアで何度も読んでいるの！」とのこと。目の前にはその本の作家さん!! この出逢いの喜びはいうまでもありません。他の本もお求めになり、記念にサインと写真。とても喜んで帰られました。

小さな絵本屋さんの小さな原画展オープニングはこのようなスタートで、私たちもほのぼのとした喜びを味わいました。6月末まで開催しています。ご来店をお待ちしております。(孝子)

今日は疲れているから行くのやめよかなと思う私が今日は疲れているから行きたい!! と思うのが「大人絵本の時間」です。人が選ばれる本にこんなものがあるんだ。あんなものもあるんだと刺激と感動があり勉強になります。心に安らぎと潤いと与えてくれる絵本に癒されかけがえのない至福の時間です。

現代子

絵本作家 二見正直さんによるサイン会とおはなし会 6月23日(火)午後開催



みなさん是非お立ち寄りください

お知らせ 2020 6

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		紙芝居 ピッポの会 ミニ講座				
	8	9	10	11	12	13
	大人のための 絵本の時間					
定休日	15	16	17	18	19	20
		おはなし会				
	22	23	24	25	26	27
	二見正直 サイン会 おはなし会					おはなし会
	29	30				
二見正直 原画展 (~6/30)						



エイト君の本選び
5歳の“エイト君”は2歳の頃からママと毎月ご来店。当初は店にあるおもちゃ等で満足するまで遊んでいました。今では「今日はこの本がほしいんだ!」と決めてやってきます。たつぷり他の絵本も楽しんで豊かな時間を過ごします。興味津々なのは庭の「虫」。『もつと詳しいことが知りたい!』そんな気持ちがエイト君の本選びにも表れています。

つむぎちゃん、妹に本選び
隣の「みよしや酒店」のお孫さんの“つむぎちゃん”は、生まれて2ヶ月の頃から里帰り出産のママと「おはなし会」に参加していました。4歳になった今も、帰ってくると必ず顔を見せてくれます。

好きな絵本もたくさん。妹の1歳の誕生日には「つむぎが選んであげる」と絵本を探してくれました。すごい、ピタリ! 赤ちゃん用の絵本を選んでママに渡していました。

二見正直 原画展

30日(火)まで

おはなし会

2日(火) 11:00~
16日(火) 11:00~
27日(土) 14:00~

大人のための 絵本の時間

9日(火) 10:30~

紙芝居ピッポの会 ミニ講座

3日(水) 13:30~



「赤ちゃんとわらべうたであそびましょ！」
 企画・原案・絵 さいとうしのぶ
 のら書店 1,320円 (税込)

おひざにのせて
 あんよをこちょこちょ～
 口ずさむ自然なリズムで
 赤ちゃんとスキンシップ!
 絵がとっても楽しそうなんです。



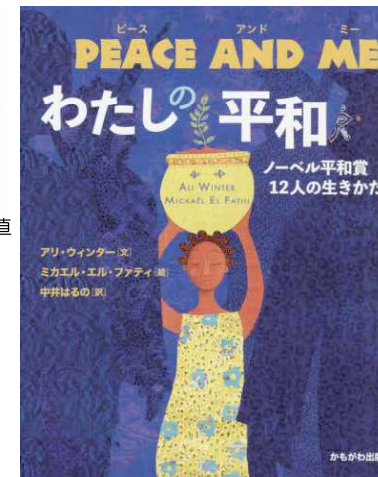
「はやくちことばのさんぽみち」
 文 平田 昌広
 絵 広野 多珂子
 アリス館 1,540円 (税込)

こちらはチョットむづかしい
 早口言葉!
 足やら口やらもつれそう!!
 楽しくお散歩しながら四季を感じよう!



「山はしっている」
 作 リビー・ウォルデン
 絵 リチャード・ジョーンズ
 訳 横山和江
 鈴木出版 1,650円 (税込)

山に住む生きものたちのいとなみが淡々と語られ、でも、その絵はとっても情緒的です。それぞれの生きものたちのストーリーを膨らませながら、ゆっくりとページをめくりたい本です。



「peace and me わたしの平和」
 文 アリ・ウィンター
 絵 ミカエル・エル・ファティ
 訳 中井はるの
 かもがわ出版 2,200円 (税込)

ノーベル平和賞を受賞した12人の、
 勇気と信念のある生き方を教えてくれます。
 今ある平和が、当たり前にあるものではないということも・



「ねえさんのヒジャブ」
 作 イブティハージ・ムハンマド & S・K・アリ
 絵 ハテム・アリ
 訳 野坂悦子
 BL出版 1,760円 (税込)

こちらは、ありふれた日常の中での「大きな勇気と強い信念」をみせてくれます。ヒジャブとはイスラムの女性の髪を覆う布のこと。読後、このヒジャブの青の美しさを感じて下さい。



「せん と てん」
 著 ヴェロニク・コーシー
 イラスト ローラン・シモン
 訳 谷川俊太郎
 かんき出版 1,650円 (税込)

ある日、いつぱんの「せん」と
 いつこの「てん」が遊び始めました。
 まねっこ遊び。
 それがどんどん広がって・
 すごい創造の世界まで。

大人コース

「まほうのおまめ だいずのたび」
 文・絵 松本春野 監修 辰巳芳子
 文藝春秋 1,650円 (税込)

久しぶり！ 松本春野さんの作品です！
 「ぜひとも 食べてくださいな。ぼくのみどりの まるいまめ」
 ころころ「おまめ」が転がるように、リズムカルにおはなしが進みます。

優しいタッチの絵で、「おまめ」を大切に育てる女の子と、
 どんどん変身する元気な「おまめ」を生き生きと描きます。
 私たち日本人が毎日のように食べている豆腐や納豆、味噌、しょうゆ・。

一方で、煮豆やおいなりさんなど手間のかかる大豆の食べ方は減ってきています。自給率もわずか7%、輸入に頼っています。

料理研究家の辰巳芳子さんは、「大豆はいのちを支える豆です。大豆をまける子になってください」と願い、「大豆100粒運動」を始めました。辰巳さんの想いもたっぷり載せた絵本です。
 (さつき)



料理家・辰巳芳子の切なる願い

「大豆はいのちを支えるまめです。100粒の大豆をまける子になってください」

新刊紙芝居



紙芝居「あめ、ぽつり」
 脚本 はせがわ さとみ
 絵 たかおゆうこ
 童心社 1,540円 (税込)

雨の日の公園って、だれもいません。
 ほんとかな？ ぽつぽつ ぽつり、雨の音。
 他にもいろんな音がするよ。